

平成4年“54歳から始めた自営業はまだ続くが”

平成30年1月6日講演 技術士(上下水道部門) 石川三千雄
技術士協同組合主催 「北とびあ」803号 13:30



埋設されている下水管を調査するためマンホールを開ける
(H14年12月64歳)

[II] 平成4年7月 独立自営業を開始(54歳であった)

平成4年、取締役から解放され(54歳)、自由に仕事をする事とした。

「下水道の技術士」「エレクトロニクス関連のコンサルタント」の二足のわらじである。

さて自分で自営を始めようと思った時に迷った。が何はともあれ知っている人たちに接触する一方、44年に技術士試験に合格している「技術士」を61年7月に正式登録した。

「技術士報」を毎回くまなく読みヒントをもらった。他方、毎月銀座の交詢社で開かれる「技術士協同組合(森田理事長)の定例会」には必ず出席し、先輩が発表する経験談やアドバイスを参考として自分なりに方向付けをした。他方、矢部五郎先生(H29年8月逝去)週1回のモーニング講座にも出席した。

平成4年7月 ①石川技術士事務所を開業

(株)シードコンサルタント(平成4年から11年技術士契約)

(株)協立コンサルタント(平成11年から22年迄契約)

② 石川電子経営研究所を同時に開業

アツデン(株)と顧問契約 経営相談に乗る 12年監査役から現在に至る

他方コンサルタント協会(協同組合)に参加・加入し仲間を広げた(現在迄)

受注して一人でこなしきれない仕事を応援してもらおう。

● 技術士協同組合の先輩に独立自営の準備を教えてもらった

この会合で得た森田理事長、青葉理事、堀 武氏のアドバイスは大きい。コンサルタントの心得であらう。以下に先輩のアドバイスを記しておきます。

i. 森田理事長

女房を最大の味方に。自分の体験した知識・能力が発揮できることが1番
2年ぐらいは仕事がなくても耐えられる預金を持っておくこと

ii. 青葉 理事

コンサルタントは黒子になること。契約ベースを基本に

iii. 堀 武氏 (大正15年生まれ—故人)

H4/5/2の手帳の記録から—コンサルタントは自由業—

- | | |
|------------------------------|------------------------|
| ① 元の職場をうろうろするな | ⑪ 学会セミナーに出席する人は実力者ではない |
| ② 昔の経歴を心から捨てる | ⑫ 一つの会社に余り行くな |
| ③ 高給になると嫌われる | ⑬ 設備購入には関与するな |
| ④ プロでもコーチがいる | ⑭ 自分に投資せよ |
| ⑤ 前の会社のことは話すな | ⑮ 病気にかかるな |
| ⑥ 知識をひけらかすな | ⑯ ピッタリした仕事はない |
| ⑦ 勇気があるか否か | ⑰ 仕事は断るな |
| ⑧ 長期契約はするな (6カ月～1年) | ⑱ 長く付き合えるのは同世代 |
| ⑨ ひまな顔、仕事がない顔をするな
忙しそうな顔を | ⑲ 部課長がすることはするな |
| ⑩ ブローカーはやるな | ⑳ スケジュールを相手にたてさせる |

以上のようなアドバイスをいただき、手帳に記していた。

これらのアドバイスのもと、所轄の税務署に屋号の届を出し、「石川技術士事務所」を発足させ、平成4年7月1日船出した。それまでに準備した努力のおかげで船出と共に5件の仕事を持った。